

令和５年度 第３回東郷町在宅医療・介護連携推進部会：議事録

日時	令和６年１月９日（火）１４時００分～１５時３０分
場所	東郷町役場２階 大会議室
出席者	委員 ※敬称略、順不同 松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会） 松尾健生 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部） 佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会） 福島美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護連絡協議会） 逸見紀子 東郷町北部地域包括支援センター 荒川和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑 朝倉隆行 居宅サービス関係（メドック東郷） 松山陽二 居宅介護支援事業所（介護支援もみの木） 池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし） 中村万季 訪問看護師（東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション） 早川孝志 介護支援専門員（東郷町介護支援専門員連絡会） 磯村淳子 訪問介護事業所（マリアンヌヘルパーステーション） 久田智之 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会） 村井良則 オブザーバー（東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ）
欠席者	なし
傍聴者	なし
事務局	高齢者支援課長（進行） 高齢者支援課職員 ２名
議題	１ 報告事項 東郷町在宅医療・介護マップについて 在宅医療・介護連携周知啓発のための出張講座について 令和６年度多職種カンファレンス及び多職種ミーティングの開催日程について ２ 議題 令和５年度医療・介護フェアについて 在宅医療・介護連携推進事業に係る東郷町の課題について
配布資料	次第 資料１ 東郷町在宅医療・介護マップについて 資料２－１ 在宅医療・介護連携普及のための出張講座について 資料２－２ 在宅医療介護連携周知啓発 出張講座チラシ（案） ：プレお試し版 資料２－３ 在宅医療介護連携周知啓発 出張講座チラシ ：令和６年度版

	資料 3－1	在宅医療・介護フェアの当日の流れ（案）
	資料 3－2	在宅医療・介護フェア当日の役割分担について（案）
	資料 4－1	在宅医療・介護連携推進事業 4つの場面参考資料
	資料 4－2	東郷町の在宅医療・介護連携の課題について

1 あいさつ（部会長）

2 報告事項

- (1) 在宅医療・介護マップについて
- (2) 在宅医療・介護連携周知啓発のための出張講座について
- (3) 令和6年度多職種カンファレンス及び多職種ミーティングの開催日程について

3 議題

- (1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェアについて

●講演内容について

- ・当初の予定から変更することについて諮った。
- ・フェア自体は日時を変更せずに開催することに決定した。これに伴い午後の講演会当日も3部構成から2部構成に変更することとした。

●当日の動きを確認

- ・展示する職能団体の委員については、10時30分集合をお願いする。
- ・それ以外の方は12時30分に集合をお願いする。
- ・展示ブースへ誘導するタイミングについては、講演会の前と1部と2部の間の休憩、講演会後にそれぞれアナウンスして誘導することにする。

〈その他のご意見〉

- ・この時期なので、遠藤先生が流行り病等で来られないことも想定すべき。
→検討する。
- ・講演の最中は展示ブースの職員配置は？
→職員は配置しない。

- (2) 在宅医療・介護連携推進事業に係る東郷町の課題について

●東郷町の課題について

- ・在宅医療介護について4つの場面を意識して東郷町の課題を抽出した。
- ・東郷町の現状

- ①急性期病院が存在せず町外の病院へ搬送される。
- ②入院施設が精神の単科以外になく、町外病院へ入院、地域保健医療計画にて病床の新設増設は考えられないため、町外病院を頼らざるを得ない状況。
- ③町内医療機関の在宅患者数が近隣市町と比較して少なく、町外の在宅医療実施医療機関を頼っていると推測される。

- ④医療機関との在宅医療介護連携の情報共有不足。
- ⑤医療職と介護職との連携体制不足。関係性の構築がまだ足りない。
- ⑥電子連絡帳の利用実績が少ない。
- ⑦住民に対する在宅医療介護に関する周知啓発不足。
- ⑧ＡＣＰの普及啓発不足。

・現状からみた課題

- ①広域を前提とした医療介護連携の体制構築が必要。
- ②町内医師、歯科医師へ在宅医療介護連携に関する情報提供等での日頃から関わりが必要。
- ③電子連絡帳を普及する対策。
- ④住民への普及啓発をフェアや出張講座で積極的に取り組む。
- ⑤ＡＣＰの検討する場が必要。

〈委員の意見〉

- ・ＡＣＰについては、東郷町が１番遅れていると感じる。
- ・在宅医療介護連携について、他市町の現状が大きく異なるため、一概には言えないが、他市町では、電子連絡帳等の情報連携ツールとＡＣＰの普及啓発に関してプロジェクトチームを発足しており、この二つに関しては、成果が上がってきていると感じている。
- ・現場で感じた課題としては、研修の課題などを電子連絡帳で送っているが、その際に事業所から初歩的な質問が多く、操作研修を定期的を実施する必要性を感じる。
- ・介護マップは離れて暮らす家族が相談に来た場合に、家族が実際に今の東郷町の医療機関等の状況を分かっていない方もいらっしゃるため、介護マップを使って医療機関や事業所の場所も含めて説明できるのは有効だと感じている。
- ・課題は山積であるが、今後の会議で検討していく。

4 その他

- 在宅医療介護フェア当日のご協力を願う。

以上